



8月  
26日

## 国見第3分団が市消防団初の優良賞

8月26日（日）、由布市挾間町の県消防学校で、第27回大分県消防操法大会が開催され、小型ポンプの部に出場した国見第3分団（安藤浩人分団長・団員37人）が、出場13チーム中、見事第4位に入賞し、国東市消防団初の優良賞に輝きました。

この種目は、小型ポンプを使用して消火する速さや正確性を競うもので、団員の皆さんは、この大会に向けて暑い時期にも厳しい練習を重ねてきました。そして迎えた本番では、選手全員が終始きびきびとした動きで、息のあった操法を披露しました。

けて暑い時期にも厳しい練習を重ねてきました。そして迎えた本番では、選手全員が終始きびきびとした動きで、息のあった操法を披露しました。

## 流しソーメンで下原9区の活性化

8月26日（日）、区の活性化と区民の懇親を図ろうと、安岐町下原9区ふれあいさんかくクラブ主催の流しソーメンが、同地区の公民館で行われました。小さな子どもから高齢の方まで区民の皆さん約50人が参加し、用意された100食分のソーメンは、約1時間で完食となりました。

8月  
26日



9月  
12日

## 鳥獣保護員・岡原新制さんに県知事感謝状

鳥獣保護区を巡回し、案内標識の管理や狩猟者への指導などを行う鳥獣保護員として長年にわたり活動されている国東町来浦の岡原新制さんが、県知事感謝状を受賞しました。岡原さんは、国東町来浦地区から上国崎地区までを担当区域とする鳥獣保護員として、平成14年から10年以上も鳥獣保護活動に尽力されています。

（左から）中本農山漁村振興部長、岡原さん

9月12日（水）、県東部振興局で伝達式が行われ、中本芳嗣県東部振興局農山漁村振興部長から感謝状と記念品が手渡されました。岡原さんは「1回の巡回時間が4時間以上もかかるなどたいへんですが、これからもできる限り続けていきたいです」と話していました。

## 自己の限界に挑戦！ 第65回県民体育大会ウエイトリフティング競技会

くにさきふれあいセンター（旧国東町給食センター）で、県内9郡市から66人の選手が参加して、第65回県民体育大会ウエイトリフティング競技会が開催されました。

2日間にわたり熱戦が繰り広げられ、国東市・東国東郡から出場した選手のうち3人が優勝など輝かしい成績を収めました。

【優勝】+105kg級 佐藤 亮介（国見中学校教諭）

【優勝】105kg級 武田 雄大（国東高校教諭）

【第3位】94kg級 後藤 輝一（大分キャンノ）

9月  
8・9日



後藤輝一選手の試技



選手宣誓をする  
佐藤亮介選手



9月  
18日

## 益田八重子さんに内閣府からエイジレス章

国見町伊美の益田八重子さんが、内閣府の平成24年度エイジレス・ライフ章に選ばれ、9月18日（火）、市役所で伝達式が行われ、三河明史市長から書状と記念の盾が手渡されました。

この章は、年齢にかかわらず生き生きとした社会参加活動を行っている高齢者で、他の模範となる方を内閣府が選定し、たたえるものです。

益田さんはご主人と一緒に、活動が途絶えていた「国見歌舞伎」を平成3年に復活させ、以後、指導者として年2回の発表会に向けての指導や、伊美小学校への歌舞伎指導を続けています。また「別宮社流鎧馬」では、射手の着付けを行うなど幅広い活動で地域に貢献されています。

（左から）三河市長、益田さん